

研究実施のお知らせ

2018年11月06日 ver.1.0

2018年11月22日 ver.1.1

2020年07月09日 ver.2.0

研究課題名

緑内障手術による房水流出率変化

研究の対象となる方

2018年4月から2018年12月の間に島根大学医学部附属病院で緑内障の治療のため緑内障流出路再建術（トラベクトミー眼内法、アイステント）を受けられ、かつ、手術の前後で房水流出率検査を受けられた方

研究の目的・意義

緑内障手術による房水流出率の変化を各術式の前後と術式間で比較する事を目的とします。緑内障に対する各種眼圧下降治療のメカニズムが明らかになる可能性があります。

研究の方法

診療記録から、年齢、性、視力、眼圧、屈折値、視野感度、網膜厚、隅角所見、使用緑内障薬物、房水流出率、手術方法、それぞれの手術と検査の施行日を調査します。

房水流出率の手術前後での変化量・率を術式内および術式間で比較します。

既存の資料のみをもちいる研究であるため、新たな健康被害や診療費の発生はありません。

収集したデータは、島根大学医学部眼科学講座内の外部から容易にアクセスできないコンピューターに保管します。研究対象者の識別は研究用の識別番号により行い、その対応表は収集データとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管します。

研究結果は眼科関連の学会および学術誌で公表します。公表の際にも、個人の特定につながる可能性のある情報は一切用いません。

研究の期間

2019年1月～2023年9月

研究組織

この研究は島根大学医学部眼科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹

参加研究機関

[研究機関]

島根大学医学部附属病院眼科

[研究責任者]

谷戸正樹

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2019年2月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座／附属病院眼科 谷戸正樹

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278